

## 「母の受洗と天国への切符」(2018. 10. 21)

先月 23 日に母が洗礼の恵みにあずかった。90 歳である。昨年の秋に洗礼式を予定していたが、あいにく風邪をひいて入所している施設から外出許可がおりず、延期になっていた。齢も齢だけの場合によっては病床洗礼という形も覚悟していたが、この 1 年の日々行き届いた介護を受け、また、皆様の祈りに支えられて、風邪もひかず体調万全で、皆様の見守る中で洗礼式に臨むことが出来た。



認知症がかなり進んでいるが、今回も母には洗礼の意味について繰り返した。「イエス様は十字架にかかり、ばあさん(母のこと)のした悪いことの全部の罰を受けてくれた。だから、イエス様を信じればこれまでした悪いことは全部チャラになって、神様からいいことばかりした人とみなされて天国に行くことができる。でも、生きているうちに必ず天国に行ける切符があれば安心するよね。それが洗礼なんだ。」今回もうなずきながら聞いてくれた。

式の途中で信仰を問う場面がある。「ハイ！」と 3 回とも大きな声で応えてくれた。嬉しかった。私は平安の内に、父・子・聖霊の御名によって洗礼を受け、そして主になって宣言した。「子よ、安心しなさい。あなたの罪は赦された。あなたは私の愛する子。私はあなたを喜ぶ。見よ、私はいつも、いついつまでもあなたと共にいる。」

礼拝後、母の簡単な紹介をし、教会から花束とバプテスマ受領証を手渡した。そしてお祝い会では皆様から祝福の言葉を戴いた。嬉しかったのであろう、母は踊り出してしまった！何か民謡を口ずさみながら、慣れたしぐさで手を振り、90 歳のばあさんが踊ったのである。驚くとともにユーモラスな表情に、皆さんと大笑いだった。



後日、施設を見舞ったが、これまでの母がいた。だが、一つ違うのは、母のベッドの傍らには「バプテスマ受領証(天国への切符)」があることだ。いつお迎えが来ても、安心して天国に行けるのだ。なんと幸いな母だろう！そして、母に洗礼を受ける牧師ってなんと幸いな牧師だろう！祈って下さった皆様に心から感謝申し上げます。「有り難う御座いました。」